

日本列島の誕生と大陸との交流

1 単元のねらい

日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことを理解することができる。国家が形成されていく過程のあらましを、東アジアとのかかわり、古墳の広まり、大和国家による勢力の拡大を通して理解する。その際、当時の人々の信仰、大陸から移住してきた人々が日本の社会にあたえた影響について気づくことができる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 日本列島における農耕の広まり、生活の変化、当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子、東アジアとの関わりなどを東アジアの歴史を背景に理解している。 国家が形成されていく過程に関する資料を様々な情報手段を活用して収集している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人類が日本列島において国家を形成してきたこと、国家が形成されていく過程のあらましについて、東アジアや日本列島の他の地域・国との関わり、古墳の広まり、大和政権の勢力拡大などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 農耕によって人々の生活が大きく変化したことを理解し、その変化からより良い社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追及している。

●学習改善につなげる評価

○評定に用いる評価

	1	2	3
知識・技能	●	○	●
思考・判断・表現		○	
主体的に学習に取り組む態度	●		

3 単元構造図（全3時間） ☆基礎的・基本的な知識，概念や技能

単元名

日本列島の誕生
と大陸との交流

単元学習前の生徒の認識

世界では，古代文明が発展して，文字や大きな建築物，宗教などが出来ていた。その頃の日本は，どのような様子だったのだろう。

第1時 旧石器時代と縄文時代の暮らし 【●主体的に学習に取り組む態度 ●知識・技能】

日本列島が「むら」から「くに」へと集団が大きくなる絵から単元を貫く課題を設定する。

縄文時代の人々はどのような生活をしていただろうか。

☆縄文時代 ☆打製石器 ☆狩猟・採集・移住

氷河時代に動物を追って大陸から日本列島に移り住み，打製石器を使って生活していた。縄文時代になると，人々は，縄文土器と言われる土器や土偶，船など，さまざまな道具を作っていた。また，全員で協力して狩りや採集を行い，同じ形のたて穴住居に住むなど，貧富の差がなく，分担・協力して生活していた。

日本列島の国々はどのように統一されていったのだろうか。

第2時 弥生時代の暮らしと邪馬台国 【○知識・技能 ○思考・判断・表現】

縄文時代と比べ弥生時代の人々の暮らしはなぜ，大きく変化したのだろうか。

☆弥生時代 ☆稲作 ☆邪馬台国

人々の暮らしが大きく変化したのは，朝鮮半島から稲作が伝わったからだと思う。稲作を行うために，人々は水田の近くに定住するようになり，むらを造った。むらでは，高床倉庫を造り，食糧を保存できるようになっただけでなく，人々を従える有力者が現れ，身分の差が生まれた。次第に食糧や道具，土地や奴隷をめぐるむらどうしが争うようになり，小さな国々ができる。邪馬台国の卑弥呼のように，国々の王は，中国へ使いを送り，認めてもらうことで，他国との争いを有利に進めようとした。

第3時 大王の時代 【●知識・技能】

大和政権はどのように発展し，中国や朝鮮半島とどのような交流をしていたのだろうか。

☆大和政権 ☆古墳時代 ☆大王 ☆渡来人

古墳時代では，大和政権が現れた。九州地方から東北地方南部にいたるまで支配を広げ，多くの豪族を従えたことで，大和政権の王は大王と呼ばれ，権力を握った。また，朝鮮半島にも勢力を伸ばそうとした。朝鮮半島からの渡来人によってさまざまな文化が伝えられた。

単元学習後の生徒の認識

米作りが伝わったことで，狩猟・採集を中心とした時代から身分の差や争いが生まれる時代へと大きく変化した。争いをする中で徐々に集団が大きくなって，国ができあがっていく様子が分かった。また，邪馬台国や倭の五王の例を見ても，日本が国家として統一されていくのに中国の存在が不可欠であったことも分かった。

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準	◇資料 指導・援助
1 旧石器時代と縄文時代の暮らし	<p>縄文時代のむらの想像図から、縄文時代の生活を読み取る活動を通して、縄文時代は、皆が分担・協力して生活を営んでいた時代であったことに気づき、縄文時代の特徴について理解することができる。</p> <p>☆縄文時代 ☆縄文土器 ☆貝塚 ☆たて穴住居 ☆打製石器 ☆狩猟・採集・移住</p>	<p>1 日本列島がどのようにできたのか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 氷河時代には海面が低く、日本列島は大陸と陸続きだった。だから人々や動物が日本にやってこられた。 旧石器時代には、10人前後の集団を作って生活していた。 <p>2 縄文、弥生、古墳時代のむら、くにの様子を示した絵を見て、単元を貫く課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日本列島の国々は、どのように統一されていったのだろうか。</p> </div> <p>3 「縄文時代のむらの生活」から本時の学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>縄文時代の人々はどのような生活をしていただろうか。</p> </div> <p>2 想像図をみて、縄文時代の生活についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 土器を作っている。→縄文土器 狩りや採集を行っている。 食べ物のゴミを捨てる場所がある→貝塚 獲物がとれるように願っていた。→土偶 家の中が掘り下げた→たて穴住居 <p>3 縄文時代の暮らしについて、道具・食べ物・住居の観点からまとめる。</p> <p>人々は、氷河時代に動物を追って大陸から日本列島に移り住み、打製石器を使って生活していた。</p> <p>縄文時代になると、人々は、縄文土器と言われる土器や土偶、船など、さまざまな道具を作っていた。また、全員で協力して狩りや採集を行い、同じ形のたて穴住居に住むなど、貧富の差がなく、分担・協力して生活していた。</p>	<p>縄文時代のむらの様子から、縄文時代は皆が分担・協力して生活を営んでいた時代だということに気づき、道具・食べ物・住居の観点から、縄文時代の特徴について主体的に理解している。</p> <p>態度＝授業の様子 知・技＝資料を読み取りの様子</p>	<p>◇縄文時代のむら ◇縄文人の生活カレンダー ◇縄文土器・土偶・たて穴住居 道具・食べ物・住居という視点を与えることで、読み取りを焦点化する。</p>
2 弥生時代の暮らしと邪馬台国	<p>弥生時代のむらの様子から、弥生時代の暮らしについて読み取る活動を通して、弥生時代には人々の暮らしが大きく変わったことに気づき、それは稲作が伝わったことによるものであると考えることができる。</p>	<p>1 「弥生時代のむらの生活」から、縄文時代と比べて、弥生時代の暮らしについて読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 稲作を行っている。→紀元前4世紀頃伝わる。 むらが柵やほりて囲まれている。→争いがあった。 家の形や大きさ、服装などが違う。→身分の差 弥生土器や金属器の使用。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>縄文時代と比べ弥生時代の人々の暮らしはなぜ、大きく変化したのだろうか。</p> </div>	<p>弥生時代の人々の暮らしが大きく変化したことに気づき、人々の暮らしを大きく変えたのは、稲作の伝来であると考えている。</p> <p>思判表＝話し合いの様子</p>	<p>◇弥生時代のむらの様子 ◇銅剣・銅矛・銅鏡・銅鐸 ◇「漢書」地理志 ◇「後漢書」東夷伝 ◇「魏志倭人伝」</p>

	<p>☆弥生時代 ☆弥生土器 ☆稲作 ☆邪馬台国 ☆卑弥呼 ☆朝貢</p>	<p>2 なぜ暮らしが大きく変わったのか考える。 ・人々は村を作って定住するようになったから。 ・道具や土地，食糧などを求めて争うから。 ・米作りや他のむらとの争いを指揮する人が現れた。 ・むらが協力したり，支配されたりし，むらが国へ，指導者が王へ変わっていった。</p> <p>3 国々の王が中国へ使いを送った理由を考える ・中国を味方につけることで，まわりの国々との争いを有利に進めたかった。</p>	<p>知・技＝資料読み取りの様子</p>	<p>稲作の伝来により生活が変化したことを縄文時代と比較して考察できるようにする。</p>
<p>3 大王の時代</p> <p>古墳の広まりについて考えることを通して，大和地方を中心に国内が統一されたことに気づくことができる。また，中国・朝鮮との交流を示す資料から，日本は中国・朝鮮半島と交流し，大きな影響を受けたことについて理解することができる。</p> <p>☆大和政権 ☆古墳 ☆古墳時代 ☆大王 ☆高句麗 ☆百済 ☆新羅 ☆伽耶地域(任那) ☆渡来人</p>	<p>1 大仙古墳の形(前方後円墳)や，地域にある古墳(円墳・前方後円墳)等の大きさを示し，墓として作られたことを伝える。</p> <div data-bbox="475 1066 1008 1193" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大和政権はどのように発展し，中国や朝鮮半島とどのような交流をしていたのだろうか。</p> </div> <p>2 大和政権，古墳文化について調べる。 ・3世紀後半，近畿地方の豪族で構成する大和政権が生まれた。 ・王や豪族は古墳を造った。大和政権の支配の広まりにともなって，古墳は全国の豪族によって盛んにつくられるようになり，6世紀末ごろまでを古墳時代という。</p> <p>3 中国・朝鮮半島との交流について知る。 ・4世紀ごろ，中国や朝鮮では国々が分裂し，対立して争いが起きていた。大和政権は百済や伽耶地域と結んで高句麗や新羅と戦っていた。 ・渡来人によって，農具，漢字，仏教などが伝えられた。</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>古墳の規模や副葬品についての資料から被葬者が権力を持つ人だととらえ，前方後円墳の分布範囲から大和政権の勢力範囲を読み取っている。</p> <p>知技＝資料の読み取り</p>	<p>◇前方後円墳の分布 ◇5世紀の東アジア ◇ワカタケル大王の名を刻んだ鉄刀と鉄剣 ◇倭王武の手紙</p> <p>倭王武の手紙では事実を読み取る活動から始めることで，生徒が確実に理解できるようにする。</p>	
	<p>古墳時代では，大和政権が現れた。九州地方から東北地方南部にいたるまで支配を広げ，多くの豪族を従えたことで，大和政権の王は大王と呼ばれ，権力を握った。また，朝鮮半島にも勢力を伸ばそうとした。朝鮮半島からの渡来人によってさまざまな文化が伝えられた。</p>			